

東京都立松が谷高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(地理歴史)科目:(世界史B) 対象:(第3年1~8組)

使用教科書:山川出版社「詳説世界史 改訂版」

使用教材:

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	学習 時数
4月	先史の世界	道具の進化と人間の生活の変化を理解することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	2
	古代オリエント世界	文明の成り立ちとその背景を理解することができる メソポタミア文明とエジプト文明の違いを把握することができる		6
5月	ギリシア世界	ヨーロッパ文化の起源としてのギリシア文化を理解することができる ポリス社会の時代とヘレニズム時代の違いを把握することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	5
	ローマ世界	ヨーロッパ文化の起源としてのローマ文化を理解することができる 共和政の時代とローマ帝国の違いを把握することができる		6
6月	西ヨーロッパ世界の成立	西ヨーロッパ世界の成立	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	6
	東ヨーロッパ世界の成立	ロシアとその周辺の歴史を理解することができる		6
7月	西ヨーロッパ中世世界の変容	封建社会の成り立ちとその意義について理解することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	5
	西ヨーロッパの中世文化	キリスト教中心の文化であることを理解することができる		2
8月				
9月	イスラーム帝国の成立	イスラーム教の成り立ちとその特徴を理解することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	6
	イスラーム世界の発展	西アジア・中央アジア・ヨーロッパ世界のイスラーム化を理解することができる		6
10月	インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化を理解することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	7
	イスラーム文明の発展	イスラーム教とアラビア語が融合して成り立った特徴を理解することができる		5
11月	陸と海のネットワーク	古来からある貿易の実態を理解することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	6
	海の道の発展	東アジア、東南アジア、地中海世界それぞれの海上交通の歴史を理解することができる		6
12月	ヨーロッパ世界の拡大	大航海時代とルネサンスについて理解することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	5
	主権国家体制の形成	ヨーロッパの絶対王政を理解することができる		2
1月	欧米における近代社会の成長	アメリカ独立、フランス革命の歴史的意義について理解することができる	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
2月				
3月				

東京都立松が谷高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(地理歴史)科目:(日本史B) 対象:(第3学年1~8組)

使用教科書:山川出版社「詳説日本史 改訂版」

使用教材:

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 単位数
4月	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 2. 農耕社会の成立	遺跡や遺物に加えて史料も加えて歴史を再現し、文化の特色を明確に理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 3. 古墳とヤマト政権	遺跡や遺物に加えて史料も加えて歴史を再現し、文化の特色を明確に理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
5月	第1部 原始・古代 第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷	国家が形成される過程を隋との関係に着目しながら、その理想を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
	第1部 原始・古代 第2章 律令国家の形成 2. 律令国家の成立	理想の国家を形成する過程を、唐や朝鮮との関係から、その展開を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
	第1部 原始・古代 第2章 律令国家の形成 3. 平城京の時代	律令体制の確立とその内容について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
	第1部 原始・古代 第2章 律令国家の形成 4. 天平文化	東アジア世界との関係に配慮しながら、文化の特色について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
6月	第1部 原始・古代 第2章 律令国家の形成 5. 平安朝廷の形成	東アジアとの関係の変化と、古代国家の推移について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第1部 原始・古代 第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治	東アジアとの関係の変化と、古代国家の推移について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第1部 原始・古代 第3章 貴族政治と国風文化 2. 国風文化	東アジアとの関係の変化から、文化の特色とその成立の背景について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第1部 原始・古代 第3章 貴族政治と国風文化 3. 荘園と武士	荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向を中世にむけて理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
7月	第2部 中世 第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭	武士の土地支配と公武関係、宋との関係に着目して、中世国家の成立を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
8月			考查および小テストによって確認	
9月	第2部 中世 第4章 中世社会の成立 2. 鎌倉幕府の成立	武士の土地支配と公武関係に着目して、中世の形成過程を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第2部 中世 第4章 中世社会の成立 3. 武士の社会	武士の土地支配に着目して、中世国家の社会の仕組みについて理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第2部 中世 第4章 中世社会の成立 4. 蒙古の襲来と幕府の衰退	武士の土地支配と元などとの関係に着目して、国家や社会の変化について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第2部 中世 第4章 中世社会の成立 5. 鎌倉文化	宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、文化の特色について考察させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第2部 中世 第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立	日本の動向、東アジアとの関係から、中世社会の多様な展開を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
10月	第2部 中世 第5章 武家社会の成長 2. 幕府の衰退と庶民の台頭	産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上に着目して、中世社会の展開を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第2部 中世 第5章 武家社会の成長 3. 室町文化	武家と公家の関わりや庶民文化に着目して、文化の特色と成立について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第2部 中世 第5章 武家社会の成長 4. 戦国大名の登場	庶民の台頭と下剋上に着目し、中世から近世への移行を理解させる基礎を考えさせる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
11 月	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権	ヨーロッパやアジアとの関係の中で、織豊政権の形成過程を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立 2. 桃山文化	ヨーロッパやアジアとの関係の中で、文化の特色に着目して理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立 3. 幕藩体制の成立	ヨーロッパやアジアとの関係の中で幕藩体制の政治・経済の形成過程を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第3部 近世 第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定	幕藩体制下の政治・経済基盤に着目し、近世の形成過程の特色を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
	第3部 近世 第7章 幕藩体制の展開 2. 経済の発展	幕藩体制下の身分制度に着目して、近世の社会の仕組みについて理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	3
12 月	第3部 近世 第7章 幕藩体制の展開 3. 元禄文化	文化の特色について、近世の形成過程の時期の文化の特色を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
	第3部 近世 第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革	幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
1 月	第3部 近世 第8章 幕藩体制の動揺 2. 幕府の衰退	諸産業・交通・技術・学問・思想の動きに着目し、幕藩体制の変容を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
	第3部 近世 第8章 幕藩体制の動揺 3. 化政文化	諸産業の発展、町人文化の形成を理解させ、生活や文化の特色を理解させる。 「授業→復習→10分間テスト→復習」の繰り返しによって基礎的知識を身につける。	考查および小テストによって確認	2
2 月				
3 月				

東京都立松が谷高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(地理歴史)科目:(地理B) 対象:(第3学年1~8組)

使用教科書:東京書籍「地理B」、帝国書院「新詳高等地図」

使用教材:

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	学習 時数
4月	球体としての地球	<ul style="list-style-type: none"> 球体である地球上での絶対位置を定めるための緯度と経度について理解する。 地軸が公転面に対して傾いているため、高緯度地域ほど昼の時間と夜の時間の1年間を通じた変化が大きくなることを理解する。 自転による時差について理解する。ある地点の時刻をもとに他の地点の時刻を求めることができる。 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	5
5月	世界の地形	<ul style="list-style-type: none"> プレートテクトニクスについて学ぶ。 日本には火山が多く、地震も頻発している理由を説明し、過去の被害について学ぶ。 1学期中間考査の実施 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	7
		<ul style="list-style-type: none"> 1学期中間考査の問題解説 造山帯と安定陸塊について学ぶ。 		2
6月	世界の地形	河川の作る地形、海岸にみられる地形など、外的営力によってつくられる小地形について学ぶ。	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	5
	世界の気候	<ul style="list-style-type: none"> 気候要素と気候因子について学び、なぜ世界の各地で気候が異なるのか考察する。 ケッペンの気候区分を中心に、世界各地の気候の特徴とそこでの人々の生活についてみていく。 		7
7月	日本の自然の特徴と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> 1学期期末考査の実施 1学期期末考査の問題解説 日本の地形と気候について概観し、台風や地震などの自然災害とそれに備える防災対策に関して学ぶ。 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	4
8月				
9月	世界の農業	<ul style="list-style-type: none"> 農業の発達と分布について学ぶ。 世界の農業地域区分を概観し、地域ごとに抱える問題点は異なることを理解する。 現代世界においては農業もグローバル化していることを学ぶ。 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	5
	世界の林業・水産業 食料問題	<ul style="list-style-type: none"> 世界の林業と水産業について学ぶ。 日本の農林水産業とその問題点について学ぶ。 世界と日本の食料問題について、国や地域でそのありようはさまざまであることを学び、どのように対応すべきか考える。 		4
10月	世界のエネルギー・鉱産資源	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー資源の利用と分布について学ぶ。 鉱産資源の分布について学ぶ。 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	1
	資源・エネルギー問題	現代世界のさまざまな資源・エネルギー問題について学ぶ。		3
	世界の工業	<ul style="list-style-type: none"> 工業の発達と立地について学び、先進地域、新興地域それぞれの工業の現況についてみていく。 工業の分野でもグローバル化が進んでいることや知識産業としての工業が発達していることを学ぶ。 2学期中間考査の実施 		4
		<ul style="list-style-type: none"> 2学期中間考査の問題解説 日本の工業とその問題点について学ぶ。 		3
11月	第3次産業 世界を結ぶ交通通信	<ul style="list-style-type: none"> 第3次産業の業種について学び、そのなかの観光業について詳しくみていく。 世界の交通網について概観し、交通・通信網による世界の一体化について学ぶ。 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	3
	現代世界の貿易と経済圏	<ul style="list-style-type: none"> 世界の貿易の現状と課題について学ぶ。 世界的に進む貿易の自由化のなかでの、日本の貿易の現状と課題について考える。 		3
	世界の人口 人口問題	<ul style="list-style-type: none"> 人口爆発、人口転換、人口移動等について学び、世界の人口問題について考える。 発展途上国、先進国の具体的な人口問題について考える。 		3
	村落と都市 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> 集落の成り立ち、村落形態と機能、都市の機能と生活について学ぶ。 交通渋滞、大気汚染、ごみ問題などの都市問題について考える。 		3
12月	民族・領土問題	<ul style="list-style-type: none"> ユーゴスラビア、パレスチナ、クルド人を例として、民族問題や領土問題について考える。 2学期期末考査の実施 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	2
				1
	世界各地の先住民	<ul style="list-style-type: none"> 2学期期末考査の問題解説 南北アメリカ大陸、オーストラリア、ニュージーランドの先住民について学ぶ。 		3
1月	地球的課題の追究	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題について学ぶ 学年末考査の実施 	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	4
2月				
3月				

東京都立松が谷高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(公民)科目:(倫理) 対象:(第3学年1~8組)

使用教科書:実教出版社「高校倫理新訂版」

使用教材:

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	学習 時数
4月	倫理とは何か	倫理という科目の特色を知る。哲学・思想を学ぶことの意味を知る。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	1
	人間とは何か	人間の特色・本質を知る。他の動物とどこが違うかを理解する。古今東西の思想家の人間についての定義を理解し、人間の存在や価値について思索を深めさせる。		4
5月	青年期の心理について	自らの体験や悩みを振り返り、青年期の意義と課題をよく理解し、豊かな自己形成をめざし、自己の生き方について考えさせる。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	4
	人格の形成と適応について	青年期における自己形成・個性と価値観の確立が、哲学・思想の原動力となっていることを理解し、人間としての生き方・在り方について理解と思索を深める。		3
6月	古代ギリシアの思想①	哲学的思考とは何かを理解する。神話的思考との違いを知る。古代ギリシアの自然哲学タレス〜ピタゴラス〜デモクリトスなど、哲学的思想の源泉を知る。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	2
	古代ギリシアの思想②	ソフィストからソクラテスの思想を知る。自然から社会・人間の方に哲学の目が向いていったことを理解する。より良く生きるというソクラテスの思想にふれる。		3
	古代ギリシアの思想③	プラトン〜アリストテレス〜ヘレニズムの思想を知る。プラトンやアリストテレスの思想の独創性と深さにふれる。		4
7月	宗教の思想について	人間の宗教心について理解する。宗教思想のメリット・デメリットを知る。宗教思想の原初的な類型について、簡単にふれる。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	2
	古代ユダヤ教の思想	ユダヤ教の歴史を知り、キリスト教の母胎となった宗教であることを理解させる。その上でユダヤ教の特色を知る。		2
	イエスの思想	ユダヤ教との決定的な違いを知る。イエスの博愛の思想にふれる。		2
8月				
9月	キリスト教の思想	ペテロとパウロの思想を知る。原始キリスト教会の設立について、その歴史的背景を理解する。その後のキリスト教の歴史について、ふれる。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	2
	イスラームの思想	ムハンマドの生涯と『クルアーン』の教えを知る。現在のイスラーム世界の拡大について、ふれる。		2
	古代インドの思想	アーリヤ人の歴史を中心に、古代インドの社会と思想にふれる。バラモン教と仏教との違いを知る。		2
	仏陀の思想	仏陀の生涯と思想を知る。生きることの苦しみの自覚とその克服について、考えさせる。		3
10月	仏教思想の展開	仏教の分裂の歴史を知る。北伝仏教と南伝仏教の違いを理解する。仏教思想の日本への影響にふれる。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	2
	古代中国の思想	古代中国の歴史と諸子百家の思想を知る。孔子の生涯と儒家の思想を知る。儒家の批判思想としての道家の思想を知る。法家の思想と秦の政治について知る。墨家と儒家の論争について、ふれる。		4
	西洋近代の合理思想①	西洋近代になぜ科学的な考え方が起こったのか、科学的思想の成立の背景について知る。錬金術と科学の違いを知る。中世から近代への思想的転換について、ふれる。		2
11月	西洋近代の合理思想②	フランシス・ベーコンの生涯と思想を知る。経験論と帰納法について理解する。その後のイギリス経験論の流れについてふれる。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	3
	西洋近代の合理思想③	ルネ・デカルトの生涯と思想を知る。合理論と演繹法について理解する。近代的な自我の確立と物心二元論についてふれる。その後の大陸合理論の流れにふれる。		3
	西洋近代の合理思想④	ホブズ〜ロック〜ルソーなど、社会契約説の思想を知る。西洋の自然法と自然権の思想が市民革命の背景になったことを理解する。		3
12月	西洋近代の合理思想⑤	カントの生涯と思想を知る。意志の自由と道徳法則の関係について理解する。人間の尊厳の根拠を人格に求めたことを理解する。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	3
	西洋近代の合理思想⑥	ヘーゲルの生涯と思想を知る。絶対精神・弁証法・人倫などの基本用語を理解し、その後の現代思想の流れにふれる。		3
1月	現代の諸課題と倫理	生命倫理と環境倫理の思想を知る。生命科学め医療技術の発達が我々に突きつけるものは何か、生命を人工的に操作できることがどんな問題を生むか、環境問題に対して我々はどんな義務や責任を持っているのか、考える。	テスト及び課題等で総合的に判断します。	3
2月				
3月				

東京都立松が谷高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(1公民)科目:(現代社会) 対象:(第3学年1~8組)

使用教科書:帝国書院「高等学校 新現代社会」

使用教材:

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	学習 時数
4月	環境 人間活動と環境問題	人間の活動により生じている環境問題が、人間の営みをおびやかしている現状について理解する。 さまざまな環境問題の現状と、解決に向けた取り組みについて理解する。 環境問題への取り組みを理解し、国際的な協力体制の必要性とあり方について考察する。	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	4
5月	人口・資源・エネルギー	世界の人口問題と、食料・水資源の問題の現状について理解する。 エネルギー資源の種類と有限性や、エネルギー消費が増える現状について理解し、原子力エネルギーの課題について考察する。	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	6
6月	青年期の意義	年期における発達段階の特徴を理解し、青年期の課題への適切な対応について考察する。	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	4
	よく生きるとは	宗教と人々の生活とのかかわりを理解し、異なる価値観と相互理解をはかることの重要性を考察する。		4
7月	よく生きるとは		定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	4
8月				
9月	民主社会の原理と日本国憲法	近代立憲主義を、国家、国民主権、基本的人権と権力分立、法の支配の考えから理解する。	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	2
		近代立憲主義の広がりについて、市民革命以降に確立されてきた考え方を通して理解する。 日本国憲法における三大原理を確認し、民主社会の実現に向けた取り組みについて理解する。 日本国憲法が保障する平等権について理解し、権利の保障と現状における課題を確認する。		4
10月	民主社会の原理と日本国憲法	自由権の定義の確認を通して、日本国憲法が保障する自由権の精神的自由について理解する。 日本国憲法が保障する身体的自由、経済的自由を理解し、自由と責任について考察する。 日本国憲法における社会権等を理解し、自由権との違い、国民の権利と義務について考察する。 新しい人権の内容と根拠について理解し、権利の行使と公共の福祉の関係について考察する。	定期考査の得点 授業への取り組み方 出席状況	6

11月	日本の政治機構と政治参加	<p>国民主義の原理に基づく議会制民主主義の方法や権力分立のあり方について理解する。</p> <p>国会の役割やしきみを確認し、国会と行政権、司法権との関係や国会の課題を理解する。</p> <p>内閣と行政の役割や議院内閣制のしくみ、行政の活動を理解し、行政の課題について考察する。</p> <p>世界の国々の政治体制がどのようなものか理解し、日本との関係、似た点、違う点を理解する。</p> <p>司法の役割や日本の裁判のしくみ、違憲審査権などを確認し、司法制度改革について考察する。</p>	<p>定期考査の得点</p> <p>授業への取り組み方</p> <p>出席状況</p>	10
12月	日本の政治機構と政治参加	<p>地方自治の考え方や地方分権のしくみを理解し、地方自治の課題を考察する。</p> <p>政党が存在する意義を確認し、世論形成やマスメディアとの関係について理解する。</p> <p>民主社会における政治参加や選挙の意義を理解し、選挙制度の課題を考察する。</p> <p>平和主義の考えを確認し、日本の防衛政策と自衛隊の関係について理解する。</p> <p>集団的自衛権をめぐる動向や、日本の安全保障政策について理解し、これからの日本の安全保障のあり方を考察する。</p>	<p>定期考査の得点</p> <p>授業への取り組み方</p> <p>出席状況</p>	4
1月	市場経済の仕組み	<p>市場経済の考え方を通して、経済の循環と分業について理解する。市場経済における価格のはたらきや、政府との関係について理解し、資源の適正な配分について考察する。</p> <p>景気や物価の変動について理解し、物価の変動が生活に及ぼす影響を考察する。</p>	<p>定期考査の得点</p> <p>授業への取り組み方</p> <p>出席状況</p>	4
2月				
3月				